

【報告事項2】

路線バスの運賃改定について

2026年(令和8年)7月28日

路線バスの運賃改定について

■経緯

・令和8年3月3日：協議運賃部会

バス事業者から運転手の待遇改善を目的とした運賃改定の申し出を受け、市内特区運賃の改定について検討を開始

協議運賃は、道路運送法第9条第4項の規定に基づき、市町村・バス事業者・地方運輸局長・関係住民の代表者で構成される協議運賃部会において協議を調えることにより、運輸局に届出ができる運賃。

・令和8年4月～5月：住民アンケートの実施

道路運送法で定める利用者等の意見を反映させるための措置

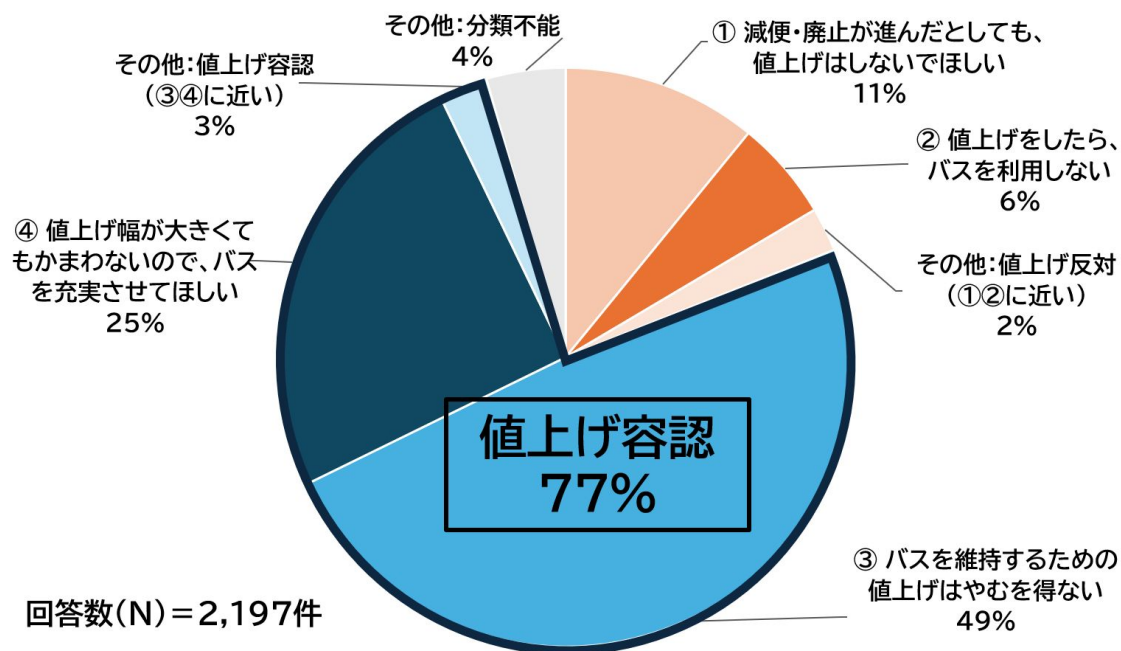
・令和8年6月30日：協議運賃部会 運賃改定について協議



路線バスの運賃改定について

■住民アンケート調査の結果

運賃値上げについての考え・全体集計



その他回答の主な内容

【値上げ容認】

- ・値上げはやむを得ないが、その代わりに減便や廃止はしないほしい
- ・値上げだけでなく、定期や割引制度も見直すべき
- ・値上げはやむを得ないが、値上げ幅は少なくしてほしい
- ・値上げして、きちんとバス運転手の待遇改善につなげてほしい

【値上げ反対】

- ・市が税金をもっと投入して、バスを維持すべき
- ・物価高で生活が苦しいので、度重なる値上げはやめてほしい
- ・値上げも減便もどちらもしないほしい

77%が「値上げ容認」と回答

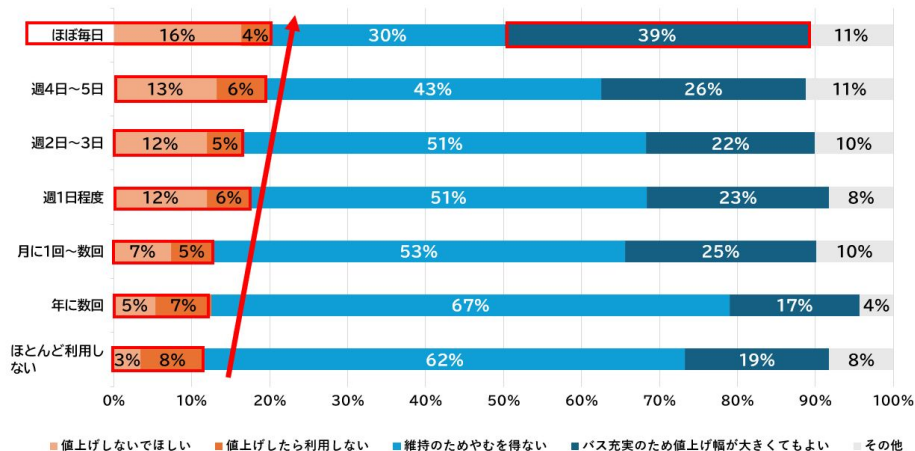
路線バスの運賃改定について

■住民アンケート調査の結果

運賃値上げについての考え・クロス集計

【路線バス利用頻度ごとの値上げに対する考え（雪がある時期）】

回答数(N)=2,187

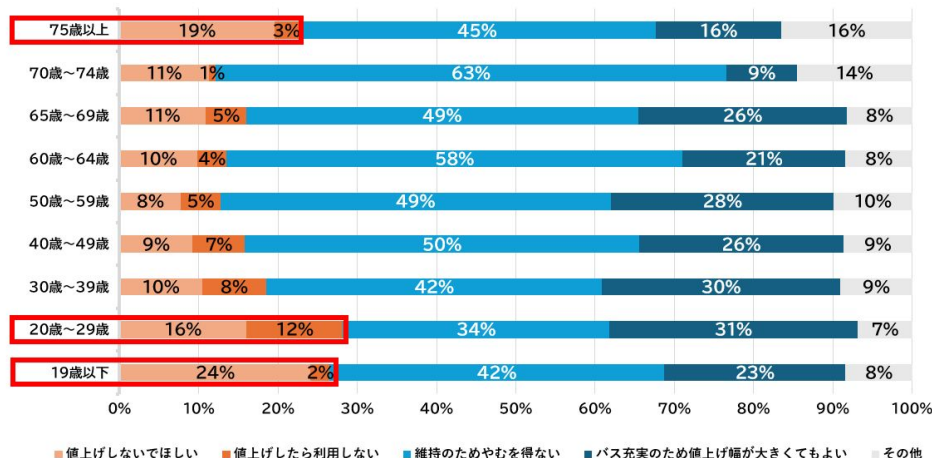


（傾向）

- どの利用頻度においても、値上げはやむを得ないとする回答が多い。
- 利用頻度が多くなるにつれ、値上げ反対とする回答の割合が高まる。
- ほぼ毎日利用する方は、「バス充実のため値上げ幅が大きくてもよい」という回答の割合が他と比べて大きい。

【年齢ごとの値上げに対する考え】

回答数(N)=2,190



（傾向）

- どの年代においても、値上げはやむを得ないとする回答が多い。
- 「19歳以下」「20歳～29歳」「75歳以上」における値上げ反対とする回答の割合が、他の年代と比べて高い。

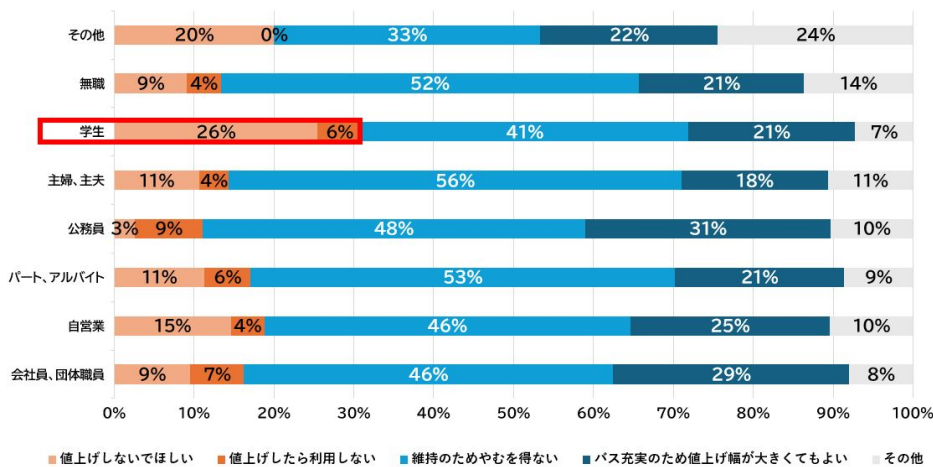
路線バスの運賃改定について

■住民アンケート調査の結果

運賃値上げについての考え・クロス集計

【職業ごとの値上げに対する考え】

回答数(N)=2,194

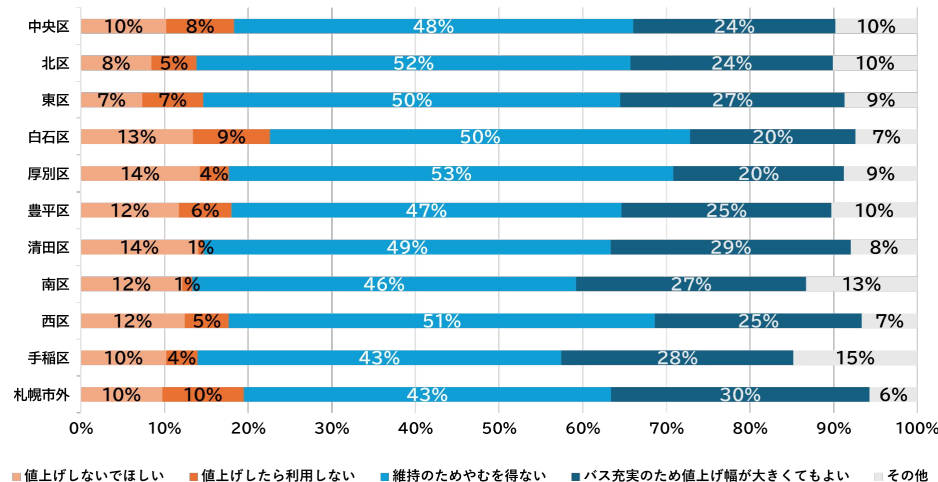


(傾向)

- どの職業等においても、値上げはやむを得ないとする回答が多い。
- 「学生」における値上げ反対とする回答の割合が、他の職業等と比べて高い。

【居住区ごとの値上げに対する考え】

回答数(N)=2,188



(傾向)

- どの居住区においても、値上げはやむを得ないとする回答が多い。
- 居住区間において、値上げに対する考えに大きな差は見られない。

路線バスの運賃改定について

■住民アンケート調査の結果

アンケート調査及び直接寄せられた主な自由意見

【値上げに関すること】

路線・便数維持のため、値上げはやむを得ない。

物価高騰のため、運賃値上げは仕方ない。

交通費の値上げは生活を圧迫する。

値上げされると、利用は控えざるを得ない。

値上げは仕方ないが、値上げ幅が大きくならないようにしてほしい。

【運転手に関すること】

値上げ分をそのまま運転手の給料に反映させてほしい。

運賃が上がっても良いので、運転手さんの待遇を良くしてあげてほしい。

値上げして、運転手の賃金を上げるだけでなく、育成をしっかりとしてほしい。

【利便性に関すること】

値上げして、もっと便数を増やしてほしい。

バス路線をこれ以上減らさないでほしい。

終バスの時間をもっと遅くしてほしい。

【運賃制度に関すること】

バス同士の乗り継ぎ割引を検討してほしい。

エリア毎の全社共通の定期券を導入してほしい。

距離に応じた運賃体系に変更してほしい。

【行政の支援に関すること】

市からバス会社に対する補助をさらに増やし、路線を維持及び拡大してほしい。

官民一体となった施策をしてほしい。

市が交通を守ってほしい。

路線バスの運賃改定について

■協議運賃部会での協議結果

・運賃改定内容

運賃制度	現行	改定後
特殊1区	240円	<u>270円</u>
特殊2区	270円	<u>300円</u>

定期・回数券は、上記を元に各社において算出した金額

・運賃改定実施予定日 令和9年4月1日

※ 実施予定日の30日前までに、各事業者において北海道運輸局に届出予定

・対象事業者(50音順)

札幌ばんけい株式会社、ジェイ・アール北海道バス株式会社、
株式会社じょうてつ、北海道中央バス株式会社、夕張鉄道株式会社

・その他

今回の運賃改定の効果を検証した上で、社会経済情勢の変化に応じた再改定の必要性について、2年後を目途に検討